



第46期 報告書
2008.04.01-2009.03.31



Aoi Advertising Promotion Inc.

企業理念

Dream & Happiness

私たちは映像制作を通じ、すべての人々と喜びを分かち合い、
ひろく経済、情報、文化に貢献する企業をめざします。

行動規範

- 時代のニーズに応え、つねに創造的であること
- 思考と行動において、つねに情熱的であること
- 未知のものを恐れず、つねに挑戦的であること



ごあいさつ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに当社第46期の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国の経済は、米国の金融危機に端を発した世界経済の急激な落ち込みにより、極めて大きな打撃を受けました。即ち、回復基調にあったとはいえ、雇用・所得環境や社会保障等に不安を残し、今一つ力強さを欠いた個人部門を、外需依存により成長を続けてきた企業部門がカバーしてきた構図が昨年9月を境に一気に崩れました。

当広告業界におきましては、当社が主力とするテレビコマーシャルの需要がメディアの新しい展開による広告媒体の多様化等の影響から伸び悩みの状況が続いている中、広告需要がわが国経済の動きを反映し急速に落ち込み、かつてない厳しい経営環境となりました。

株主の皆様のご期待に背き、会社創立時（第1～3期）を除くと初めての赤字決算をご報告しなければならず、役職員一同心よりお詫び申し上げます。

しかしながら、1株当たり年間23円の配当を確保できますことは、偏にこれまでの株主の皆様のご支援と、会社運営に携わってきた先達の努力の賜物と感謝申し上げます。

当社グループは、株主プロモーションを中核とし、テレビコマーシャル制作の川上から川下まで、またWebサイトやイベント・プロモーションに至るまで、ワンストップで対応できる体制を整備いたしました。グループ各社一丸となって、暫く続くであろう難局に立ち向かう所存でございます。

株主の皆様には、今後とも一層の力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

私たちは「株主利益の増大を図る」とともに「社員、経営者、取引先、社会等すべてのステークホルダーに満足される共益的利益を維持・向上する」ことが最大の使命であると考え、コンプライアンスを経営の軸におき、迅速かつ適切な意思決定と、公正で透明性の高い事業運営を行ってまいります。

代表取締役社長



株主の皆様へ

〈当社グループの経営成績について〉

厳しい経営環境の中、当社グループでは、グループ各社の組織を挙げて業績の維持・向上に向けて鋭意努力してまいりました。しかしながら、グループ各社とも広告業界という同じ基盤を抛り所とすることから、その影響は極めて大きいものでした。

中心的存在である当社は、売上高が計画はもちろん前年実績に対しても大きく下りました。加えて、①株式市場の大幅下落等に伴う委託機関の運用成績低下による退職給付費用の負担増 ②映画作品に係る貸倒引当金計上 ③投資有価証券の評価損計上 ④役員退職慰労金の支給 ⑤繰延税金資産の一部取崩しに伴う税金費用増 等々から、制作原価率抑制等経費の節減に努めたものの、会社創立時（第1～3期）を除くと初めて当期純損失を計上することとなりました。

（株）メディア・ガーデンは、主力のスタジオ事業が落ち込んだことや、拡充・整備途上にある照明機材事業の設備投資負担増から、減収減益となり、辛うじて当期純利益を計上するに止まりました。

（株）デジタル・ガーデンは、営業努力が奏功しグループ外取引が順調に伸長しましたが、外注費や減価償却費の増加等があり、増収減益決算となりました。

（株）葵デジタルクリエイションは、分社化後順調な業績を維持してきましたが、低迷する広告業界にあって唯一伸長するネット部門の時流に乗り切れず、初めて減収となり、人件費や家賃の増加等を賸い切れず、当期純損失を計上することとなりました。

（株）メイアンスパイクは、前期末に（株）スパイクフィルムズと（株）メイアングが合併し再建を目指しましたが、営業体制が整わないまま厳しい経営環境に晒され、更に業績を悪化させました。なお、平成21年4月1日に経営体制を一新し、併せて社名を（株）ワサビに変更いたしました。

（株）エムズプランニングは、平成4年4月創業以来これまで堅実な業績を維持してきましたが、大口顧客イベント打ち切り等の影響で大幅減収となり、初めて当期純損失を計上することとなりました。

（株）スクラッチは、当期が実質初年度でありましたが、残念ながら受注状況が芳しくなく固定費を賸い切れず、当期純損失を計上することとなりました。

（株）シースリーフィルムは、上半期に大きな欠損を計上した中で、第3四半期期初からグループ入りしました。連結決算対象となる下半期の業績は、大阪支店閉鎖により減収とはなりましたが管理体制の整備を強力に進めたこと等から、制作原価率の大幅低減ができ、新規事業に係る費用負担をカバーして下半期については計画どおり当期純利益を計上できました。同社株式買収に際し発生したのれん代2億1千1百万円は、当初予定どおり同社の今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力に伴い、5年での償却を予定しております。グループの中核会社に成長する様に引き続き経営指導をしてまいります。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高167億6千5百万円（前連結会計年度比97.2%）、営業利益4億3千2百万円（前連結会計年度比51.5%）、経常利益3億8千8百万円（前連結会計年度比49.8%）、当期純損失2億8千9百万円（前連結会計年度は、当期純利益2億7千7百万円）となりました。

〈当社グループの事業活動について〉

映像制作事業部門

広告需要が減少する中で厳しい受注競争が続きましたが、事業の中心であるCM作品の売上高は、113億3千4百万円（前連結会計年度比99.9%）と何とか微減に止めることができました。業種別売上状況は、「自動車」「電気機器」「金融・保険」が経済情勢を反映し大きく後退しましたが、「食品・飲料」「医薬・化粧品」「通信」が伸び率こそ鈍化しましたが順調に伸長しました。

また、新しい分野として力を注ぎ込んでいる映像作品の売上高は、24億7千6百万円（前連結会計年度比94.1%）でした。これは、Web関連作品が思いのほか伸びなかったことと、映画作品への取り組みを慎重にしたことによるものです。

この結果、プリント等を加えた当連結会計年度の映像制作部門の売上高は、156億3千8百万円（前連結会計年度比97.1%）となりました。

その他の事業部門

（株）メディア・ガーデン及び（株）エムズプランニングの減収が響きました。この結果、当連結会計年度の映像制作事業部門以外の売上高は、11億2千7百万円（前連結会計年度比98.4%）となりました。

CM特集

TV Commercials

日産自動車 ムラノ
[from NISSAN Premium Factory]



Aoi Advertising Promotion Inc.

資生堂 エリクシールシュベリエル
「美白一直線」



Aoi Advertising Promotion Inc.

万有製薬 AGA
「アトスペース」



Aoi Advertising Promotion Inc.

ディー・エヌ・エー モバゲータウン
「忠犬」



Aoi Advertising Promotion Inc.

※著作権保護のため作品画像のWEB掲載はしていません

〈今後の見通し〉

今後のわが国経済は、極めて厳しい状況に置かれています。失速した景気の回復は、日本も含めた世界各国の景気対策の効果を待つ以外にありません。しかしながらデフレ懸念もあり、更なる景気対策が求められます。外需依存型経済の脆さから脱却を図るべく、将来に向けた内需拡大を考慮した施策（新エネルギー・環境・少子高齢化・災害防止・農業等々）を早期に実施しないと、今回の景気後退は長期化する懸念もあります。

広告需要の大きな好転が望み難い中、映像制作業界を取り巻く環境もメディアの新しい展開による広告媒体の多様化で変わりつつあり、当社の

ようなワンストップサービスに対応できる体制の整った制作会社への発注傾向が強くなってきております。

当社グループは、事業の柱であるテレビコマーシャル制作にしっかりと軸足を置きつつ、映像制作会社としてメディアの新しい展開に的確に応え、いかなる経営環境の下でも安定した収益を確保するため引き続き努力してまいります。

以上により、通期の連結業績の見通しにつきましては、以下を予想しております。

	連 結	前期比
売 上 高	169億5千万円	101.1%
営 業 利 益	8億8千万円	200.4%
経 常 利 益	8億1千万円	204.7%
当期純利益	4億1千万円	—

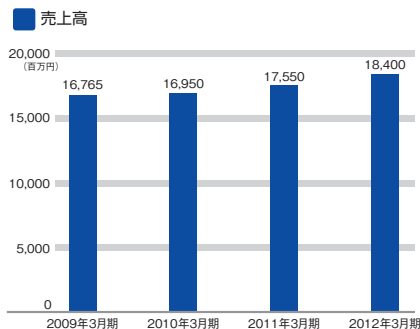
経営目標

当社グループは中期経営目標として、

- 1: グループ総売上高 190億円以上
- 2: Webコンテンツ、映画等テレビコマーシャル以外の映像コンテンツの売上高 40億円以上
- 3: 1株当たりの当期純利益 50円以上
- 4: 株主資本当期純利益率（ROE） 7%以上

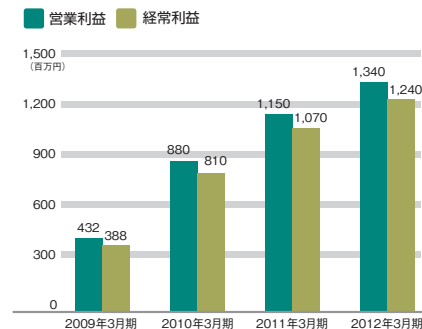
を掲げております。

2012年3月期の業績目標数値



売上高目標

184 億円



営業利益／経常利益目標

13億4千万円／12億4千万円

ハウス食品 こくまるカレー
「ハートでいっぱい」



花王 アジエンスS
「髪が決意の表れ」



NTTドコモ Answer
「家族だから（家族への通話無料）」

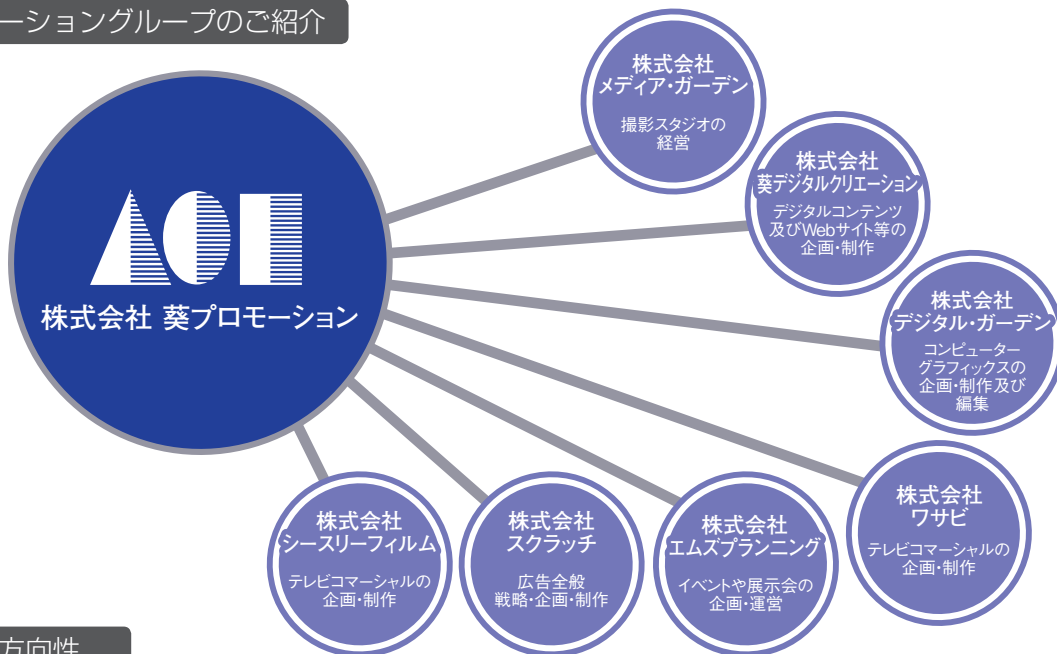


イケア・ジャパン Sleeping Comfort
「眠ろう、NIPPON!!!」



※著作権保護のため作品画像のWEB掲載はしていません

葵プロモーショングループのご紹介



経営の方向性

◆ワンストップサービス機能の強化◆

専門性の高い各グループ会社との連携により、広告主からの幅広いニーズにワンストップで応えられる体制を強化します。

◆優れた映像コンテンツの制作◆

テレビコマーシャルの制作を通じて培った高度なクリエイティビティを活かし、見る人の心に届くクオリティの高いコンテンツを制作します。

◆グローバルな制作体制の積極的活用◆

海外の優れた才能を日本から直接活用できるネットワークや、海外プロダクションとの友好関係を活かすグローバルな制作体制を強化します。

◆クロスメディアに対応できる人材の育成◆

テレビコマーシャルの制作、Webコンテンツの制作はもちろん、メディア戦略の提案までできる企画・開発力を備えた人材の育成に努めます。

CM特集

TV Commercials

ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ re
「フルチェンケータイ re、誕生」



Aoi Advertising Promotion Inc.

ハウスメイトパートナーズ 企業
「きっかけ」



Aoi Advertising Promotion Inc.

アサヒ飲料 ワンダモーニングショット
「モーニングショット 朝焼け」



Aoi Advertising Promotion Inc.

本田技研工業 ZEST Spark
「Spark」



Aoi Advertising Promotion Inc.

※著作権保護のため作品画像のWEB掲載はしていません

葵プロモーショングループの事業紹介



株式会社 葵デジタルクリエーション

Digital
Contents

KDDI au Smart Sports
「Green Road Project スペシャルサイト」

株式会社 ワサビ
(旧 株式会社 メイアンスパイク)

IVCM

三菱電機 ユニ & エコ
「空飛ぶユニエコちゃん総合」



株式会社 エムズプランニング

Events

リテールテックJAPAN (09.03.03-06)
「富士通ブースメインステージ」

株式会社 シースリーフィルム

IVCM

ブロクター・アンド・ギャンプル・ジャパン
ハーバルエッセンス
「Blue Paradise」



映画紹介



Entertainment Contents

「新宿インシデント」



ジャッキー・チェンが製作総指揮および主演を務め、当社が制作協力として参加した映画。

音信不通の恋人を探すため、中国から日本へ不法侵入した主人公。中国から来た仲間と生活のために手を出した悪事は次第にエスカレートし、新宿・歌舞伎町でヤクザと中国人マフィアの抗争に否応なく巻き込まれてゆく。

ヤクザの幹部と手を組み、カタギの商売を始めて真っ当に生きようとするが、次第に荒れてゆく仲間をまとめる術は見つからない。いつしか日本最大の外国人組織のドンとして目されるようになり、警察の手が迫り始める。主人公に命を助け

葵デジタルクリエーション
×
ワサビ (旧 メイアンスパイク)



日本建設業団体連合会 建設WEBサイト
「BUILDUP!」

www.buildupper.com

2008年 グッドデザイン賞

2009年 アジア太平洋広告祭 プロンズ

就職希望者が減少している建設業界。学生に建設業の本当の魅力伝える目的で生まれたのが、この「BUILDUP!」です。

コンセプトは「つくるってすばらしい」。多くの人に関わり、様々な工程を重ねてつくり上げてゆく建設業の仕事は、まるで音楽のようであるという考えから、“建設音”で“音楽”をつくり上げるコンテンツを制作。「つくる」を体感してもらうことで、仕事の魅力を訴求しています。

サイトはオープニングムービーで建設音を印象付け、メインコンテンツ内で実際に音楽を作るという仕組み。ワサビが持つ映像力と、葵デジタルクリエーションが持つ高度なWeb専門知識とが融合した、グループ会社間の協働体制が存分に活かされた作品です。

られたことのある刑事が彼を救おうとしたそのとき、対抗するヤクザ組員の襲撃が始まってしまった…ジャッキーの新境地、凄惨で激しい社会派大作ムービー！

監督 イー・トシジ

出演 ジャッキー・チェン / 竹中直人 / ダニエル・ウー

シュー・ジンレイ / 加藤雅也 / ファン・ビンビン / 峰岸徹 ほか。

2009年5月1日より全国ロードショー。

www.s-incident.com

※著作権保護のため作品画像のWEB掲載はしておりません

Aoi Advertising Promotion Inc. 6

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		9,311,028	9,283,108
1 固定資産		7,280,139	7,797,386
有形固定資産		4,995,340	5,113,347
無形固定資産		331,905	158,228
投資その他の資産		1,952,893	2,525,810
資産合計		16,591,168	17,080,494
(負債の部)			
流動負債		5,192,582	5,400,802
固定負債		2,434,036	1,972,547
負債合計		7,626,618	7,373,350
(純資産の部)			
株主資本		8,878,159	9,585,297
資本金		3,323,900	3,323,900
資本剰余金		3,944,754	3,945,080
利益剰余金		2,488,035	3,106,158
自己株式		△ 878,530	△ 789,841
評価・換算差額等		△ 1,067	28,137
少数株主持分		87,456	93,708
純資産合計		8,964,549	9,707,144
負債及び純資産合計		16,591,168	17,080,494

連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

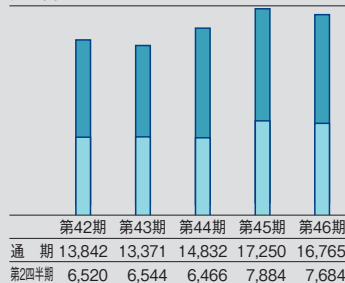
科目	期別	当期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
2 売上高		16,765,815	17,250,438
売上原価		14,632,725	15,035,427
売上総利益		2,133,089	2,215,011
販売費及び一般管理費		1,700,781	1,375,979
営業利益		432,308	839,032
営業外収益		85,308	45,763
営業外費用		128,741	103,451
経常利益		388,875	781,343
特別利益		44,591	15,216
3 特別損失		381,828	69,339
税金等調整前当期純利益		51,638	727,221
法人税、住民税及び事業税		292,081	444,238
法人税等調整額		61,292	599
少数株主利益(△損失)		△ 12,086	4,949
当期純利益(△損失)		△ 289,648	277,433

財務ハイライト (連結)

■ 第2四半期 ■ 通期

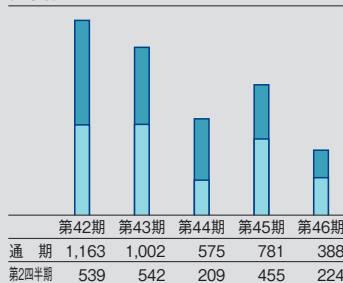
売上高

(単位：百万円)



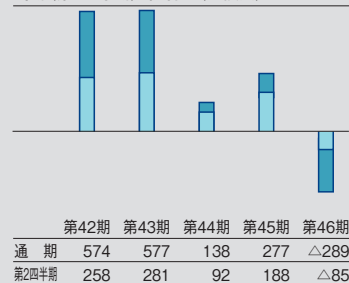
経常利益

(単位：百万円)



当期(第2四半期) 純利益(△損失)

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	期別	当期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
	4 営業活動による キャッシュ・フロー		939,646
投資活動による キャッシュ・フロー		58,667	△ 117,620
財務活動による キャッシュ・フロー		△ 321,230	△ 1,294,478
現金及び現金同等物に 係る換算差額		△ 3,512	△ 1,827
現金及び現金同等物の 増加(△減少)額		673,571	△ 155,986
現金及び現金同等物の 期首残高		910,811	1,066,797
現金及び現金同等物の 期末残高		1,584,382	910,811

POINT 1 固定資産の減少は、主に減価償却が進んだ有形固定資産、期末時価低下等による投資有価証券や解約による保険積立金を中心とする投資その他の資産の減少によるものです。

POINT 2 売上高の減少は、(株)シースリーフィルムの下半期からのグループ入りというプラス要因がありましたが、当社を中心とした既存の会社群の大幅減収によるものです。

POINT 3 特別損失の大幅増加は、投資有価証券評価損・役員退職慰労金・事務所移転損失引当金繰入額・会員権評価損等の計上によるものです。

POINT 4 営業活動によるキャッシュ・フローの減少は、売上債権・たな卸資産の減少によるプラス要因もありましたが、税金等調整前当期純利益の大幅減少や仕入債務の減少等のマイナス要因が多かったことによるものです。

連結株主資本等変動計算書（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	3,323,900	3,945,080	3,106,158	△ 789,841	9,585,297	28,137	28,137	93,708	9,707,144
当期変動額									
剰余金の配当	—	—	△ 328,474	—	△ 328,474	—	—	—	△ 328,474
当期純利益(△損失)	—	—	△ 289,648	—	△ 289,648	—	—	—	△ 289,648
自己株式の取得	—	—	—	△ 89,689	△ 89,689	—	—	—	△ 89,689
自己株式の処分	—	△ 326	—	1,000	674	—	—	—	674
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	—	—	—	—	—	△ 29,204	△ 29,204	△ 6,251	△ 35,456
当期変動額合計	—	△ 326	△ 618,123	△ 88,689	△ 707,138	△ 29,204	△ 29,204	△ 6,251	△ 742,595
当期末残高	3,323,900	3,944,754	2,488,035	△ 878,530	8,878,159	△ 1,067	△ 1,067	87,456	8,964,549

単体財務諸表

単体貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	期別	当期	前期
		(平成21年3月31日現在)	(平成20年3月31日現在)
（資産の部）			
流動資産		7,774,850	8,123,012
固定資産		6,560,978	7,591,982
資産合計		14,335,829	15,714,994
（負債の部）			
流動負債		3,643,367	4,676,490
固定負債		2,007,363	1,738,322
負債合計		5,650,730	6,414,812
（純資産の部）			
株主資本		8,686,165	9,272,044
資本金		3,323,900	3,323,900
資本剰余金		3,944,754	3,945,080
資本準備金		830,975	830,975
その他資本剰余金		3,113,779	3,114,105
利益剰余金		2,296,041	2,792,904
その他利益剰余金		2,296,041	2,792,904
別途積立金		2,185,000	2,185,000
繰越利益剰余金		111,041	607,904
自己株式		△ 878,530	△ 789,841
評価・換算差額等		△ 1,067	28,137
その他有価証券評価差額金		△ 1,067	28,137
純資産合計		8,685,098	9,300,181
負債及び純資産合計		14,335,829	15,714,994

単体損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	期別	当期	前期
		(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高		13,016,390	14,597,336
売上原価		11,444,267	13,069,637
売上総利益		1,572,122	1,527,698
販売費及び一般管理費		1,036,668	960,971
営業利益		535,453	566,726
営業外収益		282,006	239,303
営業外費用		187,096	192,073
経常利益		630,363	613,956
特別利益		38,877	19,933
特別損失		469,310	60,990
税引前当期純利益		199,930	572,900
法人税・住民税及び事業税		278,392	388,100
法人税等調整額		89,926	△ 74,833
当期純利益（△損失）		△ 168,388	259,633

単体株主資本等変動計算書（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金 合計					
前期末残高	3,323,900	830,975	3,114,105	3,945,080	2,185,000	607,904	2,792,904	△ 789,841	9,272,044	28,137	28,137	9,300,181
当期変動額												
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△ 328,474	△ 328,474	—	△ 328,474	—	—	△ 328,474
当期純利益（△損失）	—	—	—	—	—	△ 168,388	△ 168,388	—	△ 168,388	—	—	△ 168,388
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△ 89,689	△ 89,689	—	—	△ 89,689
自己株式の処分	—	—	△ 326	△ 326	—	—	—	1,000	674	—	—	674
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 29,204	△ 29,204	△ 29,204
当期変動額合計	—	—	△ 326	△ 326	—	△ 496,863	△ 496,863	△ 88,689	△ 585,878	△ 29,204	△ 29,204	△ 615,083
当期末残高	3,323,900	830,975	3,113,779	3,944,754	2,185,000	111,041	2,296,041	△ 878,530	8,686,165	△ 1,067	△ 1,067	8,685,098

会社の概況

(平成21年3月31日現在)

商号	株式会社 葵プロモーション
設立	昭和38年10月25日
資本金	3,323,900千円
従業員	258名(葵グループ426名)
主要な事業内容	テレビコマーシャルの企画及び制作を主に、 映像制作及びこれらに付帯する業務
主要な事業所	本社 東京都品川区 支店 米国カリフォルニア州カラバサス オフィス 新橋(東京都中央区) 赤坂(東京都港区) スタジオ 神奈川県横浜市都筑区 編集スタジオ 東京都渋谷区

取締役及び監査役

(平成21年6月26日現在)

代表取締役社長	高瀬 哲
取締役副社長	本多 俊也
専務取締役	八重樫 悟
専務取締役	藤原 次彦
取締役	小甲 則夫
取締役	佐藤 恵
取締役(非常勤)	大村 正一郎
常勤監査役	斉藤 博
監査役	田村 慎太郎
監査役	西本 行孝
監査役	湯佐 富治

(注) 田村慎太郎、西本行孝及び湯佐富治の3氏は、社外監査役であります。

株式の状況

(平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数	38,000,000株
発行済株式の総数	11,964,386株
(自己株式 1,370,254株を除く)	
株主数	2,747名

大株主の状況

株主名	持株数	出資比率
	(千株)	(%)
株式会社コスモチャンネル	1,312	10.9
株式会社イマジカ・ロボットホールディングス	1,000	8.3
松本 洋一	575	4.8
原 仁	461	3.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	391	3.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	331	2.7
原 文子	328	2.7
株式会社葵プロモーション従業員持株会	251	2.0
株式会社オムニバス・ジャパン	220	1.8
株式会社テーオーシー	202	1.6

(注) 1. 出資比率については、自己株式(1,370千株)を控除して算出しております。
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)及び(信託口)の持株数は、全て信託業務に係る株式数であります。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 単元株式数 500株
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当の支払いを行うときは9月30日といたします。
- 公告方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL (<http://www.aoi-pro.com/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
フリーダイヤル (0120) 232-711
- 上場証券取引所 東京証券取引所

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 葵プロモーション

〒141-8580 東京都品川区大崎一丁目6番1号

TEL (03)3779-8000 (代表)

www.aoi-pro.com

